



Handwritten Japanese text in cursive style, arranged in vertical columns on a rectangular piece of paper pasted onto the cover.

Handwritten Japanese text in cursive style, arranged in vertical columns on a rectangular piece of paper pasted onto the cover.





六編上

阿

48-7552

A418  
6



一

西

六明  
輯鴉

日中に三足の鳥有るといふ事天記の記されど鳥百度の頭六咫  
鳥の神靈と記する事一休の扇小冊に枇杷葉湯の紋を貼る  
憂と報て人小忠あり餅と哺て母小孝あり於保乎曾行里と云  
つて悪まむ此明鴉の二編も大虚まじりの小説多し忠僕  
孝婦の信義と著し妖術魔法の靈鳥乃翁小推き執絲ま  
怨魂へ禪僧の徳小消る仕組の追々綴る事れど勸懲の意を  
守るはみよく大道の賣藥ありて毒もあらずば藥にもなる  
ま、然るに是は先作者幸ありて評判よく鳥の啼ぬ日有と  
販ぬ日ありと問屋の怡悅嗣出と四編五編まつき猶六編のと  
注文ふ鳥の行水念行し又一帙脱稿なり

文之三春發兌

柳亭種彦



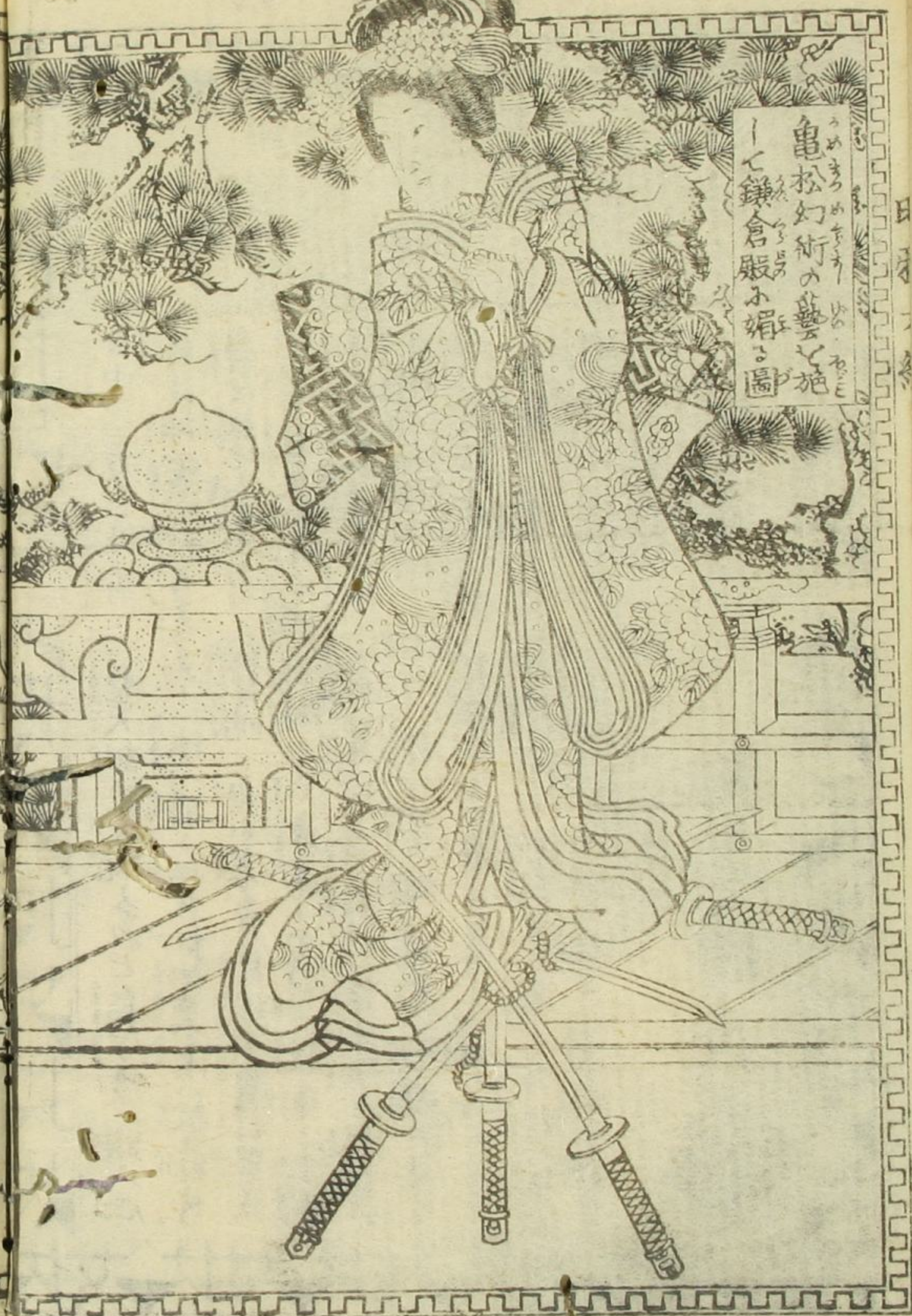
月鳥六編



口連二葉の亀松が  
 悲魂の昔語のさあこ  
 下巻術ゆづりの前  
 不加へくそあふる

月島六編

鎌倉管領  
 足利左衛門督持氏郷



亀松幻術の藝と施  
 して鎌倉殿小堀の圖



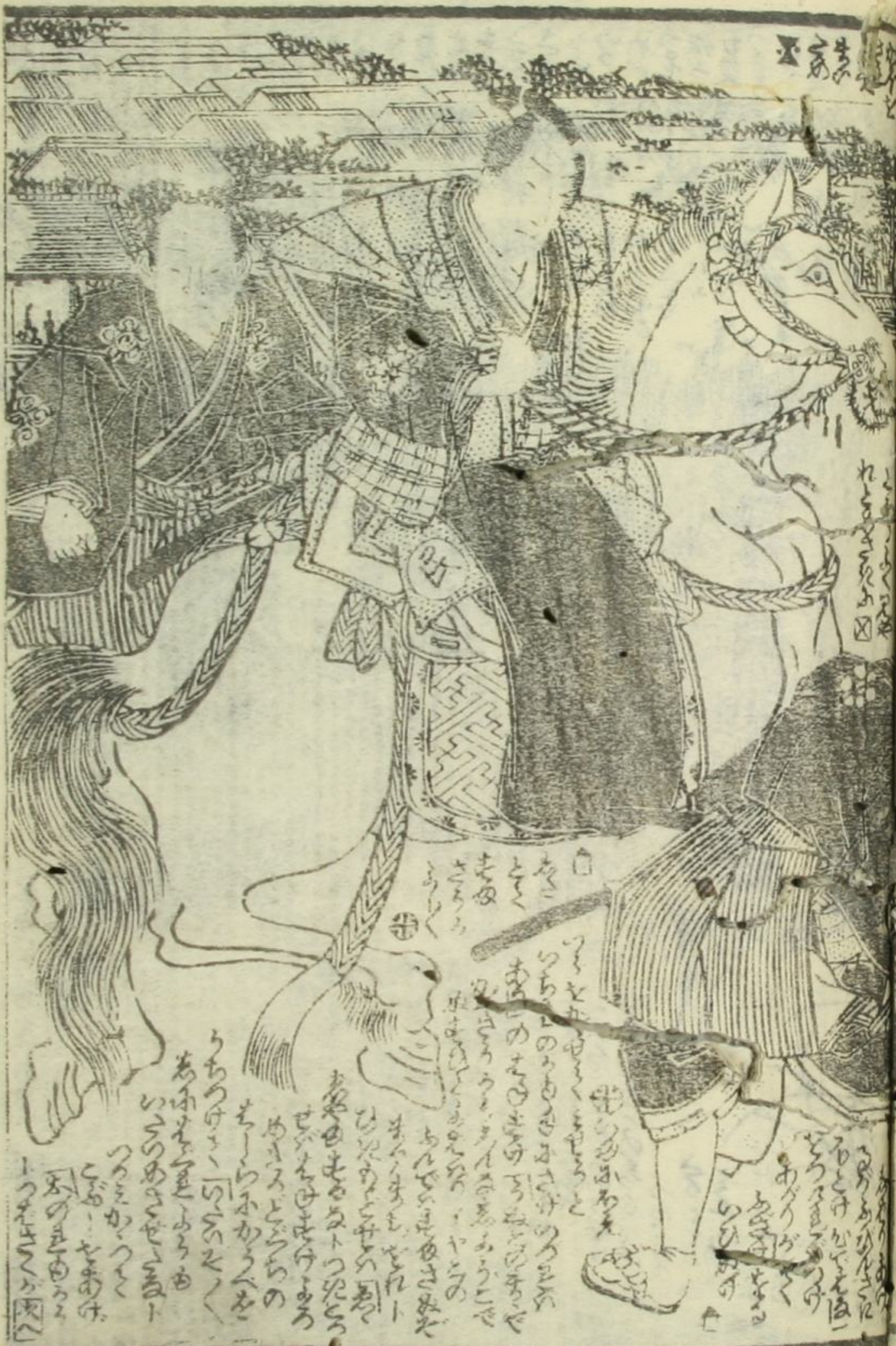
おあまふせあ  
 亀松蛇責不遺圖  
 國貞申有のま  
 描ての惨しく且口栗  
 の不祥々々演戲  
 女心る体は換つ

侍氏御北之方  
 川淀御前

月見一編

三











此の物語は、昔の物語に  
 似て、人の心を動かす  
 事多し。其の事、人の  
 心を動かす事多し。其の  
 事、人の心を動かす事多し。  
 其の事、人の心を動かす  
 事多し。其の事、人の心を  
 動かす事多し。其の事、人  
 の心を動かす事多し。其の  
 事、人の心を動かす事多し。

此の物語は、昔の物語に  
 似て、人の心を動かす  
 事多し。其の事、人の  
 心を動かす事多し。其の  
 事、人の心を動かす事多し。

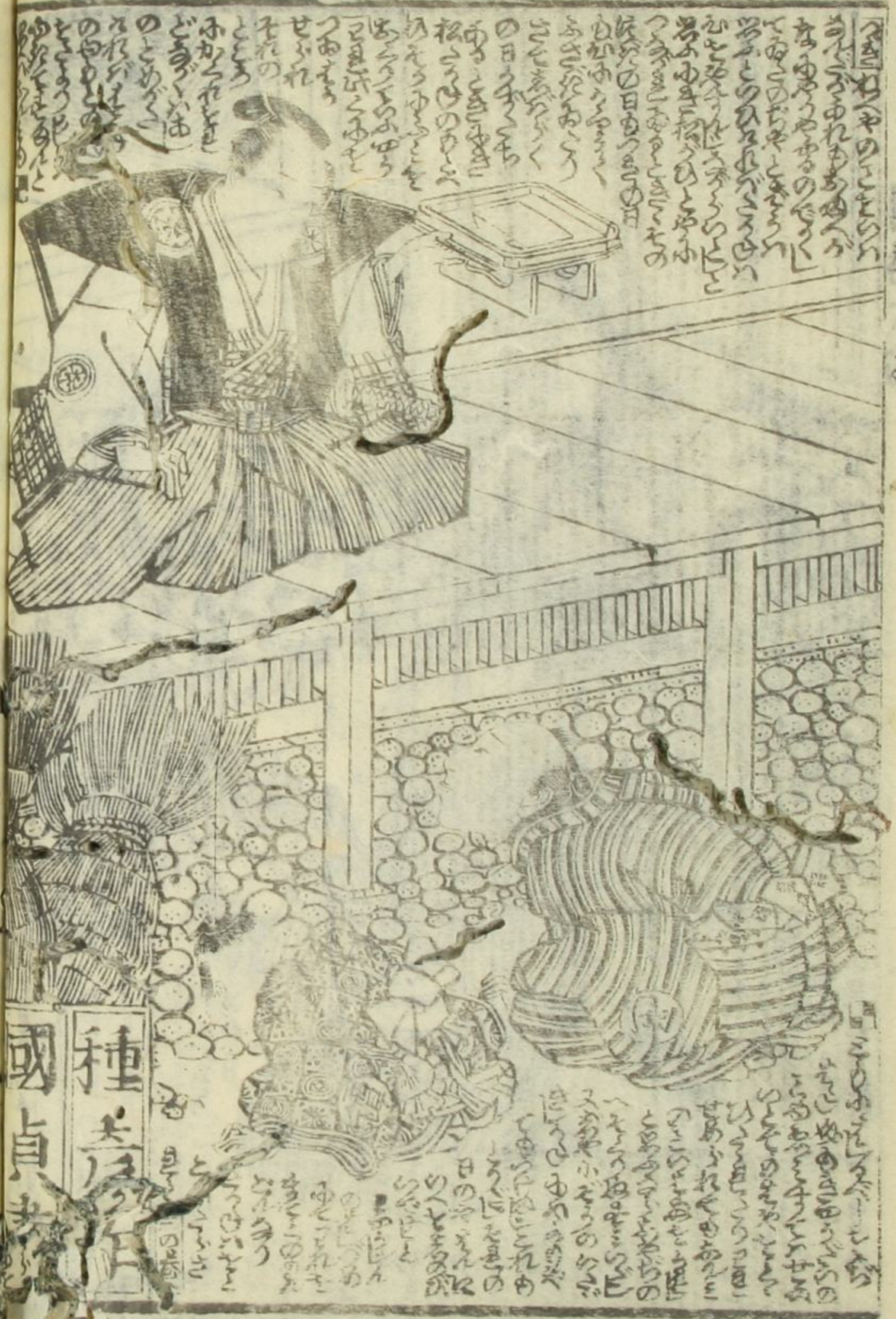
此の物語は、昔の物語に  
 似て、人の心を動かす  
 事多し。其の事、人の  
 心を動かす事多し。其の  
 事、人の心を動かす事多し。

月夜... 月夜... 月夜...









種  
國貞

柳蔭月朝妻

十編  
大尾

山々亭有人作  
梅朝樓國貞画

藪黃鵬八幡不知

十編  
大尾

山々亭有人作  
錦朝樓芳席画

阿玉ヶ池櫛月形

五編  
大尾

山々亭有人作  
陽齋豊國画

地本綿繪團扇問屋

西英堂 葛吉



中橋南馬山東画  
十葉堂孝輔画



種彦  
ふん  
うま  
うま  
うま  
うま

紅黄堂封棒

外題  
紅黄堂封棒

六編下



一の  
 二の  
 三の  
 四の  
 五の  
 六の  
 七の  
 八の  
 九の  
 十の  
 十一の  
 十二の  
 十三の  
 十四の  
 十五の  
 十六の  
 十七の  
 十八の  
 十九の  
 二十の  
 二十一の  
 二十二の  
 二十三の  
 二十四の  
 二十五の  
 二十六の  
 二十七の  
 二十八の  
 二十九の  
 三十の  
 三十一の  
 三十二の  
 三十三の  
 三十四の  
 三十五の  
 三十六の  
 三十七の  
 三十八の  
 三十九の  
 四十の  
 四十一の  
 四十二の  
 四十三の  
 四十四の  
 四十五の  
 四十六の  
 四十七の  
 四十八の  
 四十九の  
 五十の  
 五十一の  
 五十二の  
 五十三の  
 五十四の  
 五十五の  
 五十六の  
 五十七の  
 五十八の  
 五十九の  
 六十の  
 六十一の  
 六十二の  
 六十三の  
 六十四の  
 六十五の  
 六十六の  
 六十七の  
 六十八の  
 六十九の  
 七十の  
 七十一の  
 七十二の  
 七十三の  
 七十四の  
 七十五の  
 七十六の  
 七十七の  
 七十八の  
 七十九の  
 八十の  
 八十一の  
 八十二の  
 八十三の  
 八十四の  
 八十五の  
 八十六の  
 八十七の  
 八十八の  
 八十九の  
 九十の  
 九十一の  
 九十二の  
 九十三の  
 九十四の  
 九十五の  
 九十六の  
 九十七の  
 九十八の  
 九十九の  
 百の

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 百

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 百

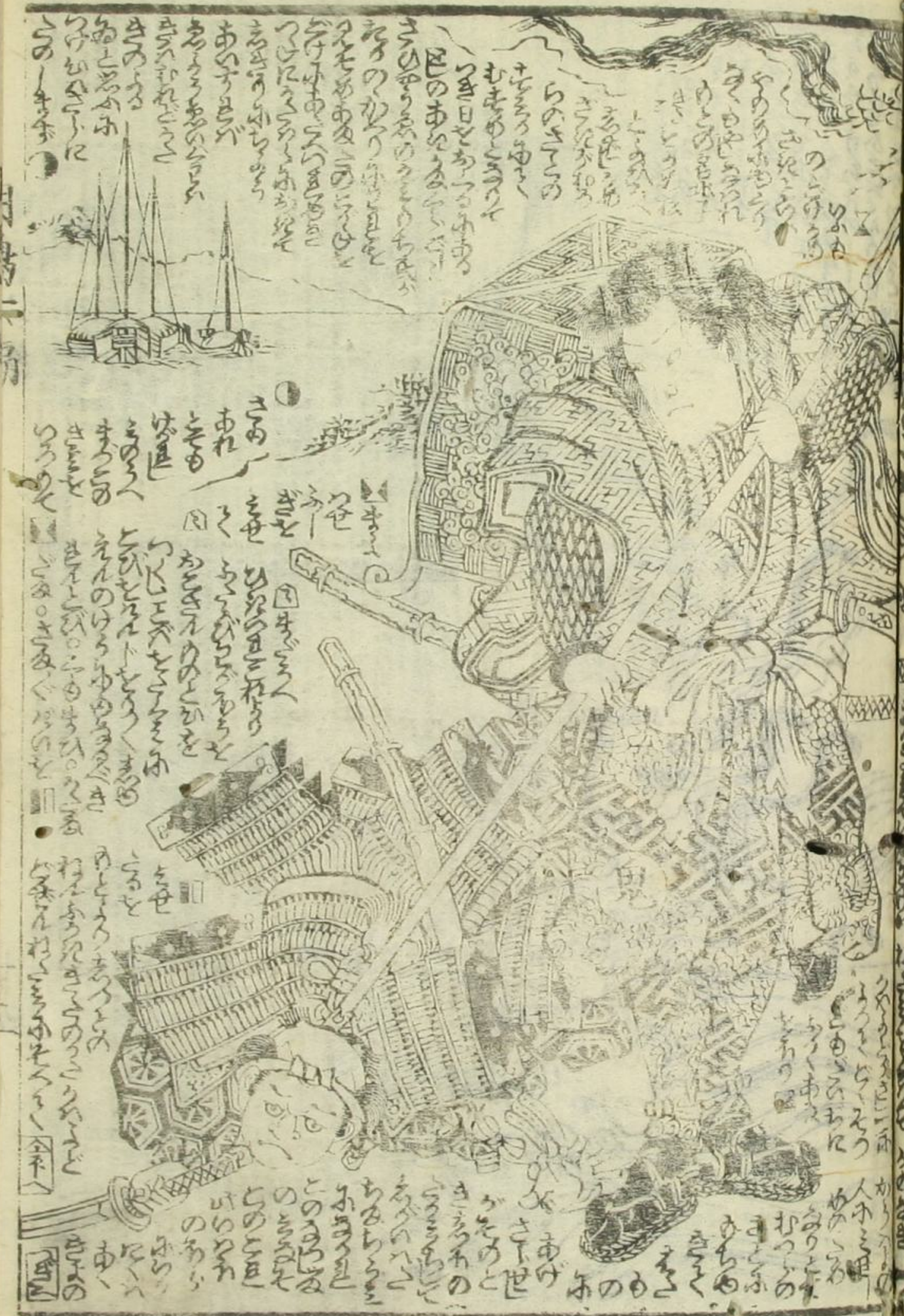












日本

四



日本書紀卷之六十九  
 天智天皇十年  
 乙未年九月十五日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日



市川  
 乙未年九月十五日  
 壬申月二十三日  
 丙申日

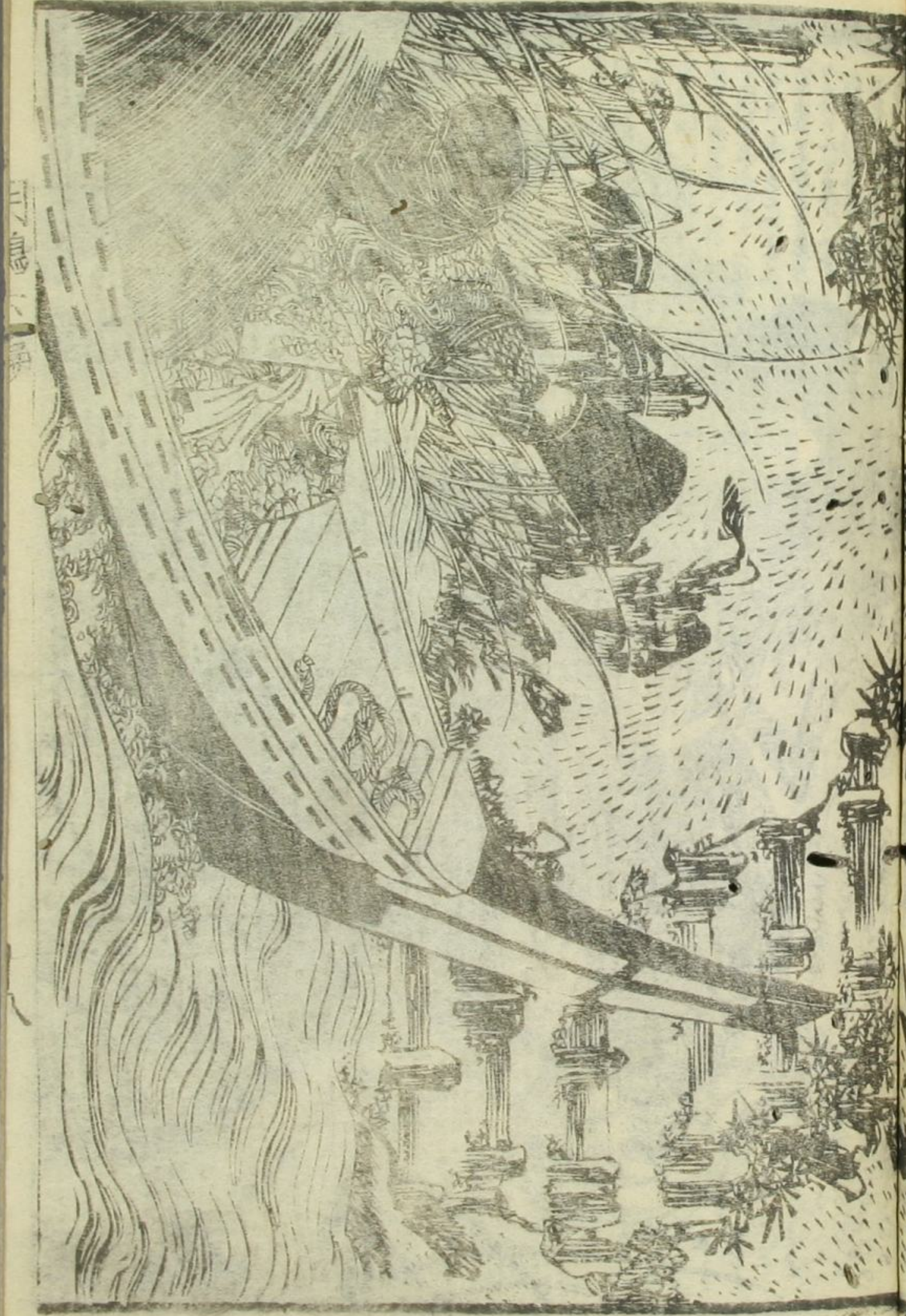
日本書紀  
 卷之六十九

日本書紀  
 卷之六十九

日本書紀卷之六十九  
 天智天皇十年  
 乙未年九月十五日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日  
 壬申月二十三日  
 丙申日



市川  
 乙未年九月十五日  
 壬申月二十三日  
 丙申日



利根川 行徳村境



Vertical text on the right margin, likely a commentary or a list of items related to the illustration.



里とちつた  
あつた  
とそこの  
のどろろ  
ハカハハ  
いりりり  
やうふふ  
Oman  
やうふふ  
五ねい  
せんのみ  
はあ  
さう  
のめ  
さ  
あ  
あ  
あ



月鳥編

二



明治七年甲戌陽春開板日

# 作者柳亭種彦 画工歌川國貞



厚化粧萬年嶋田

十編 春水作  
大尾 國貞画

新島九尾傳

十編 春水作  
大尾 國貞画

室町源氏胡蝶卷

三編 種彦作  
大尾 國貞画

筆海四國聞書

十五編 種彦作  
大尾 國貞画

鼠洞通夜譚

一編 種彦作  
大尾 國貞画

明鶴墨画廻襦襦

廿編 種彦作  
大尾 國貞画

童謡妙々車

二十編 種彦作  
大尾 國貞画

花封蒼玉章

十編 種彦作  
大尾 國貞画

薄倂幻日記

三編 春水作  
大尾 國貞画

大天傳大の奴紙

六編 柳亭作  
大尾 國貞画

七劫對萬節譚

一編 種彦作  
大尾 國貞画

萬屋吉藏板

南傳馬明堂丁同

